

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2025年2月14日

事業所名 児童発達支援センターCivitas Solis

保護者等数（児童数）：16（18）

回収数：12 割合 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3	0	・冷暖房が機能しにくい建物であることに対して意見があった。	・段差や狭い部分、冷暖房が機能しにくい点は課題であると思われる。今後も、工夫しながら支援を行っていく。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	13	0	0		
	⑤	活動プログラム ii が固定化しないように工夫されているか	12	1	0	・学校休日の日については、活動の繰り返しであることから、活動への飽きに繋がりがやすいといったご意見があった。	・今後もミーティングを実施し、活動設定の目的や目標を確認し、職員全体で業務が行えるようにしていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	4	・現段階では必要ないと思っているとの回答があった。	・子どもさんの障害特性等を踏まえ、活動内容を検討していく。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	0	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	6	0	・学習会へ参加すると顔を合わせるがあるが、親同士の交流はあまりないといったご意見があった。	・放課後デイをご利用の保護者の方向けの保護者会は行っていない。保護者のニーズ等を踏まえ、検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	0		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3	0	最近はお便りの配布がないとのことのご意見があった。	・活動内容等については、必要に応じて保護者と共有を行う。
⑭	個人情報に十分注意しているか	12	1	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10	3	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	5	0		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	・毎日落ち着いて通えているので楽しめているのではないかと回答があった。	・引き続き、子どもさんの理解や障害特性に合わせた手立てを活用しながら、見通しを持って利用していただけるように支援を行っていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11	1	0	・送迎があると助かるといったご意見があった。	・事業所全体で協議を行いながら、安心して利用していただけるように努める。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表

2025年2月14日

事業所名

児童発達支援センターCivitas Solis

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・建物の構造を活かし、活動ごとに部屋を区切っている。	・今後利用人数の増加に伴い、環境設定の見直しが課題である。
	2	職員の配置数は適切である	○		・配置基準に満たしているが、課題はある。	・積極的に研修を受け、専門のスキルを持って支援を行えるようにしていく。職員間で工夫をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・障害特性に合わせて、パーテーション等で環境設定を行っている。	・段差や狭い部分、冷暖房が機能しにくい点は課題であると思われる。工夫しながら支援を行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・毎週、職員全体でミーティングを行い、業務改善に努めている。	・ミーティングでは、職員全体で業務の振り返りを行い、改善点を共有したうえで、共通認識で業務を行えるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・職員全体で保護者からの評価を共有している。	・評価表の結果に加え、日々の保護者とのやりとりでお聞きしたご意見についても職員で共有を行い、改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページにて公開している。	・事業所、保護者向け評価それぞれの結果を総合的に踏まえ、業務改善に努めていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現在、第三者による外部評価は行っていない。今後法人全体で協議していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部の研修を受講し、報告書などを通じて職員全体に共有を行っている。	・今後も積極的に研修を受け、専門的スキルを持って支援を行えるようにしていく。 ・研修終了後は職員間で共有し、職員全体で支援に活かしていく。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・アセスメントを踏まえ、ニーズや課題を整理している。 ・年に2回モニタリングを行い、保護者との面談で計画を説明している。	・保護者からのニーズを把握し、子どもさんの理解やスキルをアセスメントしたうえで課題を整理し目標設定を行って支援していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・事業所内で共通の書式を活用し、アセスメントを行っている。	・アセスメントをもとに、個別支援計画を作成する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・一人ひとりの障害特性に応じて活動スケジュールを調整している。	・今後もミーティングを実施し、活動設定の目的や目標を確認し、職員全体で業務が行えるようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・スケジュールや活動内容は意図的に変化をつけている。	・今後も、活動が固定化しないように、活動内容の調整を行う。また、アセスメントをもとに活動の幅が広がるように支援していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・一人ひとりの理解やスキルに合わせて目標設定した個別支援計画に基づき支援している。	・利用時間に応じて、活動プログラムを調整する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・職員と1対1での学習、自立エリア、集団活動を設定している。	・個別→小集団→集団とスモールステップで成功体験が積めるように支援していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼にて情報共有を行い、記録をとっている。日々の連絡事項や役割分担はボードにて示している。	・記録やボードを活用して、職員全体が共有できるように努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援終了後には、職員間で情報共有を行っている。	・必要に応じて記録をとり、職員全体で共有を行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画に基づいた支援プロセスの記録、障害特性を軸に客観的な記録を行っている。	・今後も、日々の支援の記録をとり、支援の検証や改善に繋げていく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・年に2回、モニタリングを実施し、個別支援計画を作成している。支援の方向性について、保護者と面談の機会をつくり、説明を行っている。	・定期的なモニタリングを行い、計画作成を実施する。 ・面談を通して、保護者のニーズを把握し、課題を整理する。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせせて支援を行っている	○		・各領域ごとに課題を整理し、個別支援計画に基づき支援を行っている。	・今後も個別支援計画に基づいて支援を行う。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・ケースによっては会議に参加し、関係機関との連携を行っている。	・必要に応じて、関係機関との情報共有し、連携を行う。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・学校行事については保護者と直接情報共有を行っている。送迎時には学校の先生方から体調や様子について教えていただいている。	・必要に応じて、関係機関との情報共有し、連携を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現在、医療的ケア児の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		・現在、医療的ケア児の受け入れを行っていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・保護者向けの学習会で将来の進路に関する情報提供を行っている。	・現在、対象の方は利用されていない。子どもさんのライフステージに応じて必要な情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・年に2回、他の児童発達支援センターと共同開催し、広島県発達障害者支援センター職員より保護者向けの学習会を実施している。	・他の児童発達支援センターや発達障害者支援センターとの連携を行う。積極的に研修に参加し、職員の専門スキルを高める。 ・必要な内容は保護者へ情報提供を行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		・現在は交流する機会は設定できていない。 ・引き続き、子どもさんの障害特性に応じた活動内容を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		・現在は参加できていない。地域の特性や課題を把握するためにも、今後参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時のやりとり、日々の連絡帳での情報共有を行っている。	・共通理解を図り、支援に努めていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・保護者向けに学習会の実施している。特性理解を深めるための情報共有を行っている。	・ご家庭での困りごとの整理、対応方法について一緒に考えていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明している。	・分かりやすく丁寧な説明を心がける。変更等があった場合には、随時説明を行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・送迎時や連絡帳でのやりとり、必要に応じて電話連絡や面談を実施し、相談対応を行っている。	・保護者の子育ての困り感に対する相談を行う。さらに、障害特性に基づく対応方法を一緒に整理したり、提案していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・放課後デイをご利用の保護者の方向けの保護者会は行えていない。保護者のニーズ等を踏まえ、検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情窓口を設置し、体制を整えている。 ・保護者から直接ケース担当に相談される場合が多い。	・保護者より相談や申し入れがあった場合は、速やかに適切な対応を検討していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・活動内容等については、必要に応じて保護者と共有を行う。
	35	個人情報に十分注意している	○		・関係機関と連携を図る際には、保護者に同意を得たうえで実施している。	・事業所、法人全体で個人情報の取り扱いに十分注意して業務にあたる。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・保護者に様々な方法でやり取りを行い、ご理解いただけるように努めている。	・引き続き、ご理解いただけるように丁寧な説明を行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域住民への広報活動および、見学対応等は随時行っている。	・地域の方に来ていただくような行事開催は行っていない。保護者のニーズ、子どもさんの様子等を踏まえ、検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			・マニュアルをもとに、必要な対応方法を職員全体で共有する。保護者への周知には至っていないため、今後必要に応じて情報提供を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	・毎月、児童発達支援の子どもさんと一緒に職員は避難訓練を実施している。	・現在、子どもさん向けに避難訓練は実施できていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止についての研修をうけ、職員全体で共通認識を持つようになっている。	・定期的に研修機会を設け、適切な対応に繋げていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・3原則に基づき、子どもさんの障害特性等から必要な対応がある場合は、保護者に説明を行い、同意を得て支援を行っている。また、書面への記載を行っている。	・定期的に研修機会を設け、正しい対応方法に繋げていく。 ・必要な対応方法がある場合は、事業所全体で協議し、保護者の了承を得て行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		・該当の子どもさんは利用されていない。アレルギーの子どもさんが利用する場合は、医師の指示書に基づき対応を行います。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット発生時には、書面にまとめ、職員全体で共有している。	・怪我や事故の発生状況や要因を整理し、再発防止に努める。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。